



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精養軒

コード番号 9734 URL <http://www.seivoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長

(氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年1月期第1四半期の業績(平成27年2月1日～平成27年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	695	△6.0	△39	—	△37	—	573	—
27年1月期第1四半期	740	△4.7	△24	—	△20	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	220.21	—
27年1月期第1四半期	△7.51	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第1四半期	4,399	3,247	73.8	1,248.36
27年1月期	3,777	2,665	70.6	1,024.59

(参考)自己資本 28年1月期第1四半期 3,247百万円 27年1月期 2,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年1月期	—	—	—	—	—
28年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)現時点において平成28年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 平成28年1月期の業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	4.8	20	—	28	—	685	—	263.22
通期	2,850	3.9	0	—	16	—	673	—	258.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期1Q	2,628,000 株	27年1月期	2,628,000 株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	27,206 株	27年1月期	27,206 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期1Q	2,600,794 株	27年1月期1Q	2,600,809 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2頁「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出産業を中心に企業業績の回復が見られ、株価も上昇するなど、穏やかな回復傾向にあります。

飲食業界におきましては、昨年の消費税増税に伴う個人消費の低迷も一段落したものの、業界内競争の激化や原材料コストの上昇などにより、同業界を取り巻く環境は、未だ厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は「中期経営計画142」に基づき、更に営業力・人材力の強化に努め、既存店舗の収益改善に取り組んでおりますが、誠に遺憾ながら、当第1四半期累計期間の売上高は695百万円（前年同期比6.0%減）となりました。営業損失は39百万円（前年同期は営業損失24百万円）、経常損失は37百万円（前年同期は経常損失20百万円）、四半期純利益は573百万円（前年同期は四半期純損失20百万円）となりました。今後、早期に改善策を実施し、赤字脱却を目指し尽力して参る所存であります。

また、セグメント別の業績につきましては、下記のとおりであります。

(飲食業)

飲食業におきましては、上記の理由により、当第1四半期累計期間のレストラン部門の売上高は354百万円（前年同期比8.9%減）、宴会他部門の売上高は330百万円（前年同期比2.9%減）、飲食業全体の売上高は684百万円（前年同期比6.1%減）、営業損失44百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

(賃貸業)

賃貸業におきましては、安定的な賃貸収入の確保に努めております。この結果、当第1四半期累計期間の売上高は11百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益5百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ622百万円増加し4,399百万円となりました。流動資産は714百万円増加の2,068百万円、固定資産は93百万円減少の2,331百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が751百万円増加したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が16百万円減少と、投資有価証券が64百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ40百万円増加し、1,152百万円となりました。流動負債は48百万円増加の386百万円、固定負債は8百万円減少の765百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、未払法人税等が50百万円増加と、7月支給分に対応する賞与引当金が34百万円増加した一方で、未払金が37百万円減少したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、繰延税金負債が16百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ582百万円増加し3,247百万円となりました。この増加の主な要因は、当四半期純利益の計上等で利益剰余金が565百万円の増加と、その他有価証券評価差額金が17百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、当第1四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成27年3月13日に公表しました「平成27年1月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

なお、当第1四半期累計期間において平成28年1月期の配当予想については、平成27年3月13日に公表しました「平成27年1月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,163,348	1,914,822
売掛金	111,575	76,271
たな卸資産	42,234	43,469
その他	37,324	34,014
貸倒引当金	△1,100	△800
流動資産合計	1,353,380	2,067,776
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	648,879	632,883
土地	603,189	603,189
その他(純額)	90,152	90,472
有形固定資産合計	1,342,220	1,326,544
無形固定資産	7,436	7,102
投資その他の資産		
投資有価証券	997,332	933,631
その他	76,395	63,522
投資その他の資産合計	1,073,726	997,152
固定資産合計	2,423,382	2,330,798
資産合計	3,776,762	4,398,574
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,457	67,551
未払金	124,383	87,124
未払費用	52,476	58,322
未払法人税等	1,638	51,478
賞与引当金	31,000	65,000
資産除去債務	3,081	-
その他	71,626	57,017
流動負債合計	338,662	386,491
固定負債		
退職給付引当金	496,305	498,597
役員退職慰労引当金	106,924	111,641
繰延税金負債	151,965	135,638
その他	18,173	19,476
固定負債合計	773,366	765,352
負債合計	1,112,028	1,151,843

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	2,253,714	2,818,625
自己株式	△20,508	△20,508
株主資本合計	2,368,936	2,933,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	295,798	312,884
評価・換算差額等合計	295,798	312,884
純資産合計	2,664,735	3,246,731
負債純資産合計	3,776,762	4,398,574

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	739,982	695,447
売上原価	317,958	296,028
売上総利益	422,024	399,418
販売費及び一般管理費	445,618	438,351
営業損失(△)	△23,594	△38,933
営業外収益		
受取利息	1,266	145
雑収入	2,065	1,808
営業外収益合計	3,331	1,952
経常損失(△)	△20,263	△36,980
特別利益		
固定資産売却益	2,513	-
投資有価証券売却益	-	658,593
特別利益合計	2,513	658,593
特別損失		
固定資産除却損	1,336	-
特別損失合計	1,336	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,085	621,613
法人税、住民税及び事業税	450	48,900
法人税等合計	450	48,900
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,535	572,713

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年2月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	飲食業	賃貸業	
売上高			
外部顧客への売上高	728,546	11,436	739,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	728,546	11,436	739,982
セグメント利益又は損失(△)	△28,848	5,254	△23,594

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年2月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	飲食業	賃貸業	
売上高			
外部顧客への売上高	684,004	11,443	695,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	684,004	11,443	695,447
セグメント利益又は損失(△)	△44,219	5,286	△38,933

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。